

学校 教育 目標	○互いを認め、高めあう学びを大切にします。 【知】				
	○自他の生命を尊重し、思いやる心を大切にします。【徳・体】				
○自らの生き方を考え、実践する力を大切にします。【公・開】					
学校 概要	創立 42 周年	学校長 鈴木拓哉	副校長 大庭一修	2 学期制	一般学級: 16 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 598 人	主な関係校: 名瀬小学校 川上北小学校 川上小学校 緑園東小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語活動によるコミュニケーション能力 自分の身を自分で守る力 地域の一員として社会に貢献する力	名瀬中学校 名瀬小学校 川上北小学校	互いに認め合い、主体的に地域・ひと・もの・こととかかわり、協働する力やコミュニケーション能力を高めようとする子ども。 ○小中合同授業研究会を通じ、お互いの良さ・強みの検証による授業方の向上と児童生徒の特徴の把握。 ○体育的行事や文化的行事、子ども会議での交流、職員間での情報の交換・共有を通じた中一ギャップの軽減。 ○コミュニケーションの基本となるあいさつ運動の活性化。

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの生徒の特性の理解に努め、きめ細やかな指導を継続して学校が生き生きと過ごせる場となるよう努めます。</li> <li>職員同士も含め、コミュニケーションの基本となるあいさつ運動の活性化に努めます。</li> <li>保健指導や災害教育を通じて、自分の健康・安全を自分で守れる生徒の育成に努めます。</li> <li>地域活動への積極的な参加を促し、地域の一員としての意識と貢献できる力を育てます。</li> <li>「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。</li> </ul>
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b>	①感染症対策を取りつつ、できることから取り組んでいきたい。小中一貫ブロックでの授業研究会では、毎回新たな気づきがあり、有意義であるのでぜひ再開したい。②新学習指導要領の実施の機会をチャンスととらえて、より信頼される学習評価につなげていく。
担当	
<b>豊かな心</b>	①厳しい環境の中、導入した道徳のローテーションによる授業を引き続き進め、職員一人ひとりが得意な題材をもてるように意識づけていく。②気持ちの良い挨拶の声がさらに響いていくように「あいさつ運動」を推進する。
担当	
<b>健康な心身</b>	①十分な準備運動やストレッチの大切さを意識させ、けがを未然に防ぐ意識や熱中症を回避するための手立ての浸透を図る。②中学校弁当の導入の機会を活かし、バランスの取れた食事と体づくりを関連づけてとらえさせる。
担当	
<b>特別支援教育</b>	①ユニバーサルデザインの考え方をもう一度確認し、それぞれができるところから工夫をしていこうとする体制をつくる。②授業だけでなくさまざまな場面ですべての職員が個別支援級にかかわり、応援する体制をさらに進めていく。
担当	
<b>地域との連携</b>	①昨年度は地域とのかかわりが難しかったが、できるところから地域と関わり、関係性を高め地域の子どもの意識を高めていく。②スタートでつまづいたが、40周年のお礼とともに50周年に向けてリスタートの年にしたい。
担当	
<b>生徒指導</b>	①教育相談の機会をさらに有意義なものにするため、「傾聴」のために心がけることの研修を通じて職員一人ひとりの力量を高める。②落ち着いた学習環境を維持、継続させるため、魅力ある授業の展開と迅速な指導、深い生徒理解を徹底する。
担当	
<b>キャリア教育</b>	①1年空白になってしまったが、地域の協力による職業講話、職場体験を将来の職業選択と結び付けて捉えられるよう充実を図る。②中学校卒業後の進路選択のための正確な情報を発信する。高校進学については「行ける学校」ではなく「行きたい学校」という観点で主体的に選択させる。
担当	
<b>安全管理</b>	①施設の経年劣化に伴い、今まで以上に危険個所の発見が重要になっている。職員による発見とともに、注意喚起と生徒からの情報収集をする。②予測できる危険に対しては、十分な対策をとる。感染症に関しても対策を講じできることはしっかりと実施していく。
担当	
<b>いじめへの対応</b>	①時間割の中に生徒指導の打ち合わせを入れ込み、確実な情報収集と早期発見、迅速な対応がとれる体制を継続する。②いじめ防止対策委員会を組織的、計画的に開催し、とりわけコロナ関連のいじめは絶対に許さないという体制をつくる。
担当	
<b>人材育成・ 組織運営 (働き方改革)</b>	①ベテランの経験やスキルを職場で有効に生かせるよう意識的に情報交換する機会を設定する。②ワークライフバランスをそれぞれが意識し、偏りなくすべての職員の健康が増進できるような職場の体制を目指す。③互いに助けが求められるような信頼関係を構築する。
担当	